

# 令和元年度 施策評価シート

## 1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	03 子育て・福祉 ~みんなで支え合う思いやりのあるまち~		
	施策	10 高齢福祉 - 高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めます -		
重点プロジェクト				
主管課	福祉部 高齢福祉課	評価責任者	山中 昇	
		評価日	令和2年5月21日	
関連課	協働推進課、文化・スポーツ振興課、環境課、社会教育課			
目標	高齢者が知識や経験を活かしながら、地域社会の中で趣味の活動やボランティア活動、就労などを通じて積極的な役割を果たし、生きがいを持っていきいきと健やかに暮らせる環境づくりを進めます。			
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 趣味やボランティア、交流活動の促進</p> <p>○高齢者が地域で生きがいを持って暮らせるよう、スポーツ・レクリエーション・社会参加・世代間交流などを推進します。</p> <p>○高齢者がこれまで培ってきた知識や経験を様々な分野で活かし、ボランティア活動や地域づくりなどを通じて積極的に活動できる環境を整備します。</p> <p>○高齢者が安全に安心して活動できる拠点の確保を図ります。</p> <p>○高齢者の閉じこもりを防ぎ、積極的に地域で活動できるよう、移動手手段の確保を図ります。</p> <p>(2) 就労機会の拡充</p> <p>○高齢者の就労について中心的役割を果たすシルバー人材センターと連携し、就労相談や就労機会の拡充に努めます。</p>			

## 2. 施策指標と達成状況

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	シルバー人材センター会員数					
		説明	年度末現在。高齢者が知識や経験を活かし地域社会の中で生きがいを持って暮らせるよう、シルバー人材センターと連携し、センターの周知を図った。令和元年度新規入会302人・退会292人で目標値に届かなかった。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	2,200	2,260	2,320	2,380	2,440	2,500
		実績値	2,129	2,139				
	指標 2	指標名	高齢者の施設利用者数（おい老人福祉センター）					
		説明	高齢者の健康増進や利用者相互の交流を図るため、大井総合福祉センター内のおい老人福祉センター利用者数の確保に努めた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館により昨年度より利用者数が減少した。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
		実績値	66,027	59,594				
	指標 3	指標名	高齢者の施設利用者数（エコパ）					
		説明	高齢者の健康増進や利用者相互の交流を図るため、エコパ利用者数の確保に努めた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館により昨年度より利用者数が減少した。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000
		実績値	168,777	152,833				
	指標 4	指標名						
		説明						
単位								
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標 5	指標名							
	説明							
	単位							
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	404,226	163,022	296,609			
	人件費	31,666	23,414	31,660			
収入	特定財源	274,932	47,276	154,946			
	一般財源	160,960	139,160	173,323			

4. 評価対象年度の施策実施内容

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組	第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗管理	平成29年度に介護保険法に基づき3年を1期とする介護保険事業計画を高齢者保健福祉計画と一体のものとして策定した。令和元年度は諮問機関である介護保険等運営審議会で計画の進捗管理を行った。(第7期計画：平成30年度～令和2年度)	介護保険等運営審議会(年間2回)で計画の進捗管理を実施。令和元年度においては計画値と実績値に大きな乖離はなく、計画に則り順調に事業展開が図られた。	高齢者保健福祉計画推進事業
取組	高齢者の就労機会の拡充	2市1町共同による補助金交付により、シルバー人材センター健全運営の推進を図った。また、会員確保のための啓発事業として実施しているコンサートや講演会等への事業支援を行った。	シルバー人材センター補助金として、ふじみ野市分10,176,859円を交付した。シルバー人材センターの令和元年度契約額は1,210,730千円で、平成30年度1,184,188千円と比較して26,542千円(2.2%)の増となった。	シルバー人材センター支援事業
取組	お出かけサポートタクシーの事業内容の見直し	高齢者等の交通手段の確保及び福祉の増進や外出の機会の提供を行うために実施している、お出かけサポートタクシーのサービス向上に向け、平成30年度に実施したアンケート調査結果等をもとに、事業内容の見直しを実施した。	サービス向上のため、令和2年4月から事業内容を変更して実施することとなった。共通乗降場の撤廃 運行範囲を2市1町に拡大 補助上限額の設定 利用回数上限の設定	長寿推進事業(一部)
取組	地域密着型施設の整備	国・県から交付される補助金を活用して、市内に高齢者グループホームを整備する法人に対して整備費の一部を助成する補助金を交付した。また、令和2年度の地域密着型特別養護老人ホーム開設に向け事業者を選定した。	高齢者福祉施設整備補助金を1施設に施設整備補助32,000,000円、施設開設準備補助14,718,000円を交付した。高齢者グループホーム(18床)が令和2年3月に開設した。	高齢者福祉施設整備等支援事業
取組	大井総合福祉センターの適正な運営	令和2年度から5年間の指定管理制度による事業者の選定を公募により実施した。令和元年度の運営については、基本協定、年度協定に基づき、効果的・効率的な運営に努めるよう支援を行った。	経年劣化による修繕として、大広間畳張替え、浴槽ろ過装置ろ材交換・タンク補修、非常用予備電源バッテリー交換、介護浴槽薬液機能修繕を行った。会議施設等の利用について、条例改正により利用料金等の明確化を図った。	大井総合福祉センター管理運営事業

5. 評価

評価	
指標の達成状況	第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく事業が概ね順調に進められている。令和元年度においては、お出かけサポートタクシーの事業内容の見直しを図ったほか、大井総合福祉センター会議施設について、高齢者福祉・障がい者福祉を目的とする利用以外についての利用料金を明確化し、市外利用料金を設定する見直しを行った。引き続き、ライフスタイルの多様化などに対応した高齢者の生きがいに満ちた生活・地域づくりに向け、時代のニーズを把握し、工夫しながら事業展開を行う必要がある。誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることのできる地域社会の構築のため、既存のサービスの検証を進めながら支援体制の充実を図る。
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		高齢者保健福祉計画推進事業		前年度の方向性	
				継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ~みんなで支え合う思いやりのあるまち~			
	施策	10 高齢福祉 - 高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めます -			
予算費目		一般会計 03民生費 01社会福祉費 03老人福祉費			
所管部課		福祉部 高齢福祉課		評価責任者	増村 規子
事務事業期間		平成12年度~		評価日	令和2年4月7日
個別計画 根拠法令・条例等		老人福祉法・介護保険法			
事務事業の内容	事務事業の目的	老人福祉法及び介護保険法に定められた高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定を行う。また、計画は3年ごとに見直しを行うこととされていることから、進捗管理を併せて実施する。			
	事務事業の経緯	介護保険事業計画は、介護保険法により3年を1期として策定することが義務付けられている。本市では、これに合わせ高齢者保健福祉計画も一体のものとして作成している。また、作成年度に庁内検討委員会を設置し計画原案の検討を行うとともに、諮問機関である介護保険等運営審議会へ諮問し計画策定を行っている。			
	事務事業の概要	3年ごとに高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を策定する。計画は介護保険等運営審議会に諮問し、介護保険料を含めた答申をいただいている。策定した計画は、審議会により進捗管理を実施している。			
	令和元年度の主な取組	第7期計画に示された各種事業計画について、審議会により進捗管理を行った。また、次期第8期計画策定に向けた基礎資料とするため、「日常生活圏域ニーズ調査」「在宅介護実態調査」等4種類のアンケート調査を実施した。			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.06	0.90	1.55
		人件費	8,582	7,181	12,366
	再任用職員	従事人数(人)	0.50	0.65	0.00
		人件費	1,841	2,499	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		10,423	9,680	12,366	
事業費	報酬	399	144	1,138	
	賃金	0	0	0	
	需用費	19	24	43	
	委託料	0	4,070	3,003	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	31	12	95		
支出合計		10,873	13,929	16,645	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		10,873	13,929	16,645	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		95	122	143	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	介護保険等運営審議会開催回数		
	説明	計画策定及び進捗管理を行う介護保険等運営審議会の開催回数を活動指標とする。 令和元年度の審議会開催回数は目標値よりも少なかったが、翌年度の第8期計画に係る国からの指針が令和2年度となったこと、また、第7期計画の進捗管理は令和元年度の2回の審議会を実施できていることから目的は達成している。		
活動	単位	回		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	4	4	10
	実績値	4	2	
指標 2	指標名			
	説明			
活動	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	0	
指標 3	指標名			
	説明			
活動	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	0	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【第7期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（平成30年度～令和2年度）の概要等】
	<p>〔計画の目的・特徴〕 ふじみ野市における高齢者保健福祉計画に関する総合的計画と介護保険事業に関する事業計画を合わせたものであり、市の高齢者保健福祉施策の総合的指針となるものである。 第7期計画は、団塊の世代が後期高齢者となる令和7年までの中長期的な視点から策定した。</p> <p>〔策定体制等〕 庁内検討委員会及び介護保険等運営審議会にて審議・検討するとともに、ニーズと実態把握のためのアンケート調査、計画案に対するパブリックコメントを実施した。</p> <p>〔基本理念と基本目標〕 高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも、自分らしく、安心して、豊かな生活を送れるまちを、全ての世代の市民とともに支え合いながらつくりあげていくことを目指し、基本理念を「みんなで支え合いいつまでも健やかに暮らせるまち」と決定した。また、以下の4つを基本目標とした。 1. 健康で自立した生活を継続できるまち 2. 住み慣れた地域で支え合いながら暮らせるまち 3. 安心して介護が受けられるまち 4. 快適にいきいきと暮らせるまち</p> <p>〔計画の進行管理と次期計画の策定〕 計画の進行管理については、介護保険等運営審議会において、計画の進捗状況の評価・点検を実施する。また、第8期計画の策定に向けてアンケート調査を令和元年12月に実施した。（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（回収率71.1%前回比+0.4%）、在宅介護実態調査（回収率64.7%前回比+5%）、介護事業所調査（回収率76.7%）、若年者調査（回収率47.9%前回比+6.8%））</p>

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	〔次年度以降の取組み〕 介護保険等運営審議会を中心に、第7期各種サービスの利用状況、介護保険認定者の状況、施設整備状況などについての検証を行う。また、第8期計画策定に向け、計画内容等の検討を行う。
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		シルバー人材センター支援事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ~みんなで支え合う思いやりのあるまち~			
	施策	10 高齢福祉 - 高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めます -			
予算費目		一般会計 03民生費 01社会福祉費 03老人福祉費			
所管部課		福祉部 高齢福祉課		評価責任者	増村 規子
事務事業期間		昭和62年度~		評価日	令和2年4月7日
個別計画 根拠法令・条例等		高年齢者等の雇用の安定等に関する法律 ふじみ野市シルバー人材センター補助金交付要綱			
事務事業の内容	事務事業の目的	働く意欲と能力のある高齢者が、働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献するため設置されたシルバー人材センターに対し、補助金を支出しその活動を支援する。			
	事務事業の経緯	平成28年4月にふじみ野市・富士見市・三芳町のシルバー人材センターが合併し、(公社)人間東部シルバー人材センターが発足した。補助金については、協定により基本割額(国基準)と人口割額の合算額を市町それぞれの補助額とした。			
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容の審査及び補助金の支出</li> <li>・法人の事業運営の確認</li> <li>・法人の運営等に関する連絡調整等及び活動の支援</li> </ul>			
	令和元年度の主な取組	(公社)人間東部シルバー人材センターに対し、市・町の協定により定められた補助金を交付するとともに、センターの健全運営への支援を行った。			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位:千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.11	0.03	0.10
		人件費	891	240	798
	再任用職員	従事人数(人)	0.07	0.07	0.00
		人件費	258	270	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		1,149	510	798	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	10,104	10,177	10,104	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	4	4	4		
支出合計		11,257	10,691	10,906	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		11,257	10,691	10,906	
市民1人あたりの負担コスト(単位:円)		99	93	94	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。



### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	契約金額		
	説明	シルバー人材センターの受注実績である契約金額を成果指標とする。 契約金額を増やすための啓発事業として、シルバー人材センター主催のコンサート及び富士見市・三芳町との共催による講演会を実施した。		
成果	単位	千円		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	1,029,245	1,059,245	1,089,245
	実績値	1,184,189	1,210,730	
指標 2	指標名	シルバー人材センター会員数（年度末）		
	説明	会員数を成果指標とする。 会員数を増やすための啓発事業として、シルバー人材センター主催のコンサート及び富士見市・三芳町との共催による講演会を実施した。また、会員勧奨のためシルバー人材センターでチラシを作成し、公共施設での配布を行った。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	2,220	2,287	2,356
	実績値	2,129	2,139	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>ふじみ野市・富士見市・三芳町共同による補助金交付及び事業支援の実施により、シルバー人材センターの健全運営とともに、シルバー世代への就労支援を図ることができた。</p> <p>会員数・契約数を増やすための啓発事業として、シルバー人材センター主催のコンサート及び富士見市・三芳町との共催による講演会を実施した。</p> <p>また、会員勧奨のためシルバー人材センターでチラシを作成し、公共施設での配布を行っている。</p> <p>介護保険の保険料通知の封筒に広告を掲載し、会員募集と仕事の募集を広報した。</p>
------------------	---

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	高齢者の生きがい対策や就労機会の提供の観点から、引き続きシルバー人材センターへの支援を行う。
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名	長寿推進事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ~みんなで支え合う思いやりのあるまち~		
	施策	10 高齢福祉 - 高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めます -		
予算費目	一般会計 03民生費 01社会福祉費 03老人福祉費			
所管部課	福祉部 高齢福祉課	評価責任者	増村 規子	
事務事業期間	昭和33年度~	評価日	令和2年4月7日	
個別計画 根拠法令・条例等	ふじみ野市立ふれあいプラザ条例・同施行規則 ふじみ野市敬老祝金支給条例 外			
事務事業の内容	事務事業の目的	・高齢者が健康で生きがいのある生活を送れるよう、施設の管理運営、団体の支援等を行う。また、敬老の意を表し、祝金の支給をもって長寿を祝福する。さらに、高齢者の外出の機会を提供するためお出かけサポートタクシー事業を実施する。		
	事務事業の経緯	本事業に位置づけている高齢者の生きがい対策は、主として老人クラブ育成、敬老祝金の支給、高齢者施設管理運営(指定管理者施設除く)である。本市(合併前)では昭和40年度より補助金支出による財政支援等を実施。敬老祝金は、旧上福岡市は昭和33年、旧大井町は昭和39年に事業開始となっている。お出かけサポートタクシー事業は平成28年4月に開始した。		
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいプラザかみふくおかの管理運営の実施。</li> <li>・ゲートボール場の管理運営及び利用者団体の育成。</li> <li>・老人クラブの育成、活動支援のため、補助金を交付し財政的援助を行うとともに、必要に応じ助言など支援を実施。</li> <li>・敬老祝金の支給。</li> <li>・お出かけサポートタクシー事業の実施。</li> </ul>		
	令和元年度の主な取組	<p>【ふれあいプラザかみふくおか】在宅高齢者の交流・社会参加・地域福祉活動の場として運営。</p> <p>【ゲートボール場】スポーツを通じて、高齢者が健康で生きがいのある生活を送れるよう支援。</p> <p>【老人クラブ】老後の生活を豊かなものにしていくため、概ね60歳以上の方でクラブをつくり、趣味・教養・娯楽などの交流や社会活動を行う老人クラブに対し支援を行っている。</p> <p>【敬老祝金】市内に引き続き2年以上居住しており、対象年齢になった方に敬老祝金を支給。</p> <p>【お出かけサポートタクシー】タクシーの利用料金の半額を助成し、高齢者の外出の機会を提供した。また、平成30年度に実施したアンケート調査をもとに事業内容の見直し業務を行った。</p>		

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.05	0.92	0.92
		人件費	8,501	7,340	7,340
	再任用職員	従事人数(人)	0.15	0.00	0.00
		人件費	553	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.63	0.64	0.64
	人件費	1,110	1,110	0	
	人件費計	10,164	8,450	7,340	
事業費	報酬	0	0	1,909	
	賃金	1,829	1,883	0	
	需用費	4,617	1,170	1,576	
	委託料	20,681	3,448	3,120	
	使用料及び賃借料	686	636	651	
	工事請負費	135,886	0	0	
	負担金、補助及び交付金	20,217	22,301	24,586	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	27,675	9,930	22,781	
	支出合計	220,647	46,708	61,963	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	588	555	580
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	143,300	0	0
		基金	7,185	0	0
		その他	0	0	115
	一般財源	69,574	46,153	61,268	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		609	403	527	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	老人クラブ会員数		
	説明	高齢者施設等を拠点として活動する老人クラブ会員数を成果指標とする。 いきいきクラブ会員募集のチラシ配布等の周知活動を行っているが、入会する高齢者が少ないこと。 会員の高齢化が進み、役員の担い手不足から連合会を脱退するクラブもあり減少している。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	1,980	1,992	2,022
	実績値	1,826	1,662	
指標 2	指標名	お出かけサポートタクシー利用者数		
	説明	お出かけサポートタクシーを利用して外出した高齢者の延べ人数を成果指標とする。 令和元年度、利便性向上を図る検討会議を実施。令和2年度は多くの高齢者が公平に利用できる福祉サービスとして実施する。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	31,000	36,000	41,000
	実績値	28,798	29,618	
指標 3	指標名			
	説明			
成果	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>【ふれあいプラザかみふくおか】 在宅の高齢者の交流の場、様々な地域社会参加活動を推進する場として設置。事業開始：平成12年4月、利用対象者：市内在住の高齢者の方、利用料：無料、利用者数：交流スペースの利用 25人程度/日、2回は高齢者や地域福祉団体の活動拠点(事務室等)として利用されている。</p> <p>【ゲートボール場】 スポーツを通じて、高齢者が健康で生きがいのある生活を送れるよう支援している。高齢福祉課が管理しているゲートボール場は、上福岡ゲートボール場をはじめ、4か所ある。</p> <p>【老人クラブ】 老後の生活を豊かなものにしていくため、概ね60歳以上の方でクラブをつくり、趣味・教養・娯楽などの交流や社会活動を行う老人クラブに対し支援を行っている。また、地域ごとに市と共催で講演会等を開催するなどし、地域での交流を深めている(34団体 1,662人が加入)。</p> <p>【敬老祝金】 市内に引き続き2年以上居住しており、対象年齢になった方に敬老祝金を支給。支給対象者は、喜寿・米寿・白寿</p> <p>【お出かけサポートタクシー】 タクシーの利用料金の一部を助成し、高齢者等の交通手段の確保及び福祉の増進や外出の機会を提供している。対象者は、市内に住所を有し65歳以上で申請により登録証の交付を受けた方。 平成30年度、利用登録者に対し、無作為抽出によりアンケート調査を実施し、意見や要望等を踏まえ令和元年度に事業内容の見直し業務を行った。令和2年4月からの変更内容として、運行範囲を2市1町に拡大し現在の共通乗降場を撤廃。乗降場所のどちらかがふじみ野市内であれば、基本的にどこでも乗降可能とする。利用回数は年度内24回を限度とし、補助金額については乗車料金の半額の補助で補助の上限額を600円とする。</p>
--------------	---

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>今後の高齢社会の進行を踏まえ、事業内容については検討していく必要があるが、長寿推進のための事業は必要なものと考えている。一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が増加する中、生きがいを持って生活し地域において活動していくことは今後ますます重要なものとなる。必要に応じた見直しを行いながら、事業の継続をしていくことが求められる。</p>
中長期的方向性	
継続	



# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名	高齢者福祉施設整備等支援事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ~みんなで支え合う思いやりのあるまち~		
	施策	10 高齢福祉 - 高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めます -		
予算費目	一般会計 03民生費 01社会福祉費 03老人福祉費			
所管部課	福祉部 高齢福祉課	評価責任者	増村 規子	
事務事業期間	平成28年度～	評価日	平成31年4月17日	
個別計画 根拠法令・条例等	ふじみ野市高齢者福祉施設整備補助金交付要綱、ふじみ野市施設開設準備経費助成特別対策事業費補助金交付要綱、ふじみ野市介護保険事業計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	高齢者福祉施設を計画的に整備し、高齢者及びその家族に良質で安定した介護サービスを提供するとともに、市内に高齢者福祉施設を整備する法人に対して整備費等に係る負担の軽減を図る。		
	事務事業の経緯	国の三位一体改革に伴う補助金制度の見直しにより従来の国・県による補助制度が廃止され、平成17年度より「地域介護・福祉空間整備等交付金」が創設された。なお、平成28年度に同交付金のメニューが見直され、新たに「埼玉県地域密着型サービス等整備助成事業費等補助金交付要綱」が創設された。		
	事務事業の概要	国・県から交付される補助金を活用して、市内に地域密着型の高齢者福祉施設を整備する法人に対して整備費等の一部を助成する補助金を交付する。		
	令和元年度の主な取組	認知症高齢者グループホーム1か所(2ユニット18人)の整備を行う法人(平成30年度に公募により選定済み)に対し、事業の進捗管理を行い、整備費および開設準備経費を助成する補助金を交付する。また、地域密着型介護老人福祉施設(定員29人以下)1か所の整備を行う法人を公募により選定し、来年度の開設に向け、進捗管理を行う。		

## 2. 事務事業費・人件費

(単位:千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.00	0.20	1.00
		人件費	8,096	1,596	7,978
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	8,096	1,596	7,978	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	123,830	46,718	154,251	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	28	3	0		
	支出合計	131,954	48,317	162,229	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	123,830	46,718	154,251
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	29	3	0
	一般財源	8,095	1,596	7,978	
市民1人あたりの負担コスト(単位:円)		71	14	69	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	補助制度活用事業者数		
	説明	補助金を活用して施設整備等を実施した事業者数		
成果	単位	事業者数		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	0	1	1
	実績値	1	1	
指標 2	指標名	地域密着型特別養護老人ホームの床数		
	説明	地域密着型特別養護老人ホームの入居（入所）可能となる人数を把握する指標である。		
成果	単位	床数		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	29	29	58
	実績値	29	29	
指標 3	指標名	グループホームの床数		
	説明	グループホームの入居（入所）可能となる人数を把握する指標である。		
成果	単位	床数		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	63	81	81
	実績値	63	81	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>【高齢者福祉施設整備補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業概要 高齢者福祉施設の整備費等の一部を助成することで、高齢者施設等の整備を促進し、高齢者福祉の向上を図ることを目的とする。</li> <li>・対象事業所種別 認知症高齢者グループホーム等</li> <li>・補助額 32,000千円×施設数を上限として補助を行う。</li> </ul> <p>【施設開設準備経費助成特別対策事業費補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業概要 高齢者福祉施設の開設に係る準備経費の一部を助成することで、高齢者施設等の整備を促進し、高齢者福祉の向上を図ることを目的とする。</li> <li>・対象事業所種別 認知症高齢者グループホーム等</li> <li>・補助額 839千円×定員数を上限として補助を行う。</li> </ul> <p>～令和元年度実績～</p> <p>【高齢者福祉施設整備補助金】</p> <p>1対象法人 医療法人社団 富家会                  2施設数 1施設                  3補助金額 32,000,000円×1施設+14,889,000円（839,000円×18人が上限）=46,889,000円                  4事業所種別 地域密着型特別養護老人ホーム                  5補助対象経費 整備に要する経費</p> <p>消費税率の引き上げに伴って、令和元年10月1日以降に交付決定された補助金については、補助単価が引き上げられている。</p>
--------------	--

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	第7期介護保険事業計画（平成30年度～令和2年度）に基づき、市内に高齢者福祉施設を整備する法人に対して、国及び県の補助金を活用し補助を実施する。 第8期計画期間（令和3年度～5年度）については、令和2年度に策定する第8期介護保険事業計画で計画していく。
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		大井総合福祉センター管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ~みんなで支え合う思いやりのあるまち~			
	施策	10 高齢福祉 - 高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めます -			
予算費目		一般会計 03民生費 01社会福祉費 04総合福祉センター費			
所管部課		福祉部 高齢福祉課		評価責任者	増村 規子
事務事業期間		平成14年度~		評価日	令和2年4月7日
個別計画 根拠法令・条例等		老人福祉法 ふじみ野市立大井総合福祉センター条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	高齢者及び障がい者の自立の促進及び健康の増進を図るとともに、市民の相互交流と福祉の向上に資することを目的とする。			
	事務事業の経緯	大井総合福祉センターは平成14年度に開設以来、高齢者及び障がい者を対象に、地域福祉の拠点的作用を持つ施設として、常に良好な環境を保つよう、維持管理及び運営を行っている。平成24年4月からは事業を効果的かつ効率的に行うため、指定管理者制度を導入している。			
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様・協定の作成及び指定管理者選定事務（5年ごと）</li> <li>協定書に基づき指定管理者が実施する施設管理・健康相談・自主事業などの進歩管理</li> <li>危機管理体制の整備及び対処</li> </ul>			
	令和元年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の指定管理者は2期目であり、指定期間は平成28年度から令和元年度までとなっている。</li> <li>令和元年度は令和2年度から5年間の指定管理者の選定を行った。また、畳の張替え、非常用予備発電設備起動用蓄電池交換、浴槽濾過装置ろ過材交換及びFRPタンク補修修繕、緊急修繕として機械浴槽の薬液機能修繕を行った。</li> <li>大井総合福祉センターの会議室等の利用促進と市の減免規定の統一を図るため、条例改正を実施し、令和2年4月から施行する。</li> </ul>			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.19	0.35	0.35
		人件費	1,539	2,793	2,793
	再任用職員	従事人数(人)	0.08	0.10	0.10
		人件費	295	385	385
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		1,834	3,178	3,178	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	2,333	3,662	2,373	
	委託料	56,956	59,910	70,935	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	39	40	40		
支出合計		61,162	66,790	76,526	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		61,162	66,790	76,526	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		535	584	658	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	おおい老人福祉センター利用者数(延べ)		
	説明	年間の利用者数(延べ)を成果指標とする。 新型コロナウイルスの影響により、令和2年3月1日から休館にしたため実績値は減少した。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	70,000	70,000	70,000
	実績値	66,027	59,594	
指標 2	指標名	多目的ホール及び会議室利用者数(延べ)		
	説明	年間の利用者数(延べ)を成果指標とする。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	20,780	20,780	20,780
	実績値	23,312	20,937	
指標 3	指標名			
	説明			
成果	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【大井総合福祉センターの概要】</p> <p>大井総合福祉センターは、高齢者及び障がい者の自立の促進及び健康の増進を図るとともに、市民の相互交流と福祉の向上に資するため、平成14年度に複合施設として開館した。高齢者施設としては、入浴施設や運動・交流等が行える「おおい老人福祉センター」を2階部分に設置している(高齢福祉課所管)。</p> <p>障がい者施設として、1階部分に「大井デイケアセンター」を設置し、人間東部福祉会が運営を実施(障がい福祉課所管)。また、3階部分には、「障がい者相談支援センター」「障がい者就労支援センター」を一部委託で設置している(障がい福祉課所管)。平成28年度からはNPO法人により、「市民大学」を開校し高齢者を含む多くの市民のまちづくりを考える場として活用している(協働推進課所管)。</p> <p>4階部分には、社会福祉協議会大井支所が入居。その他として、多目的ホールや会議室(3室)を有し、高齢者・障がい者団体等に貸出し、活動の場として支援を行っている。大井総合福祉センター管理事業の位置づけとして、館全体の管理業務(部屋の貸出しを含む)及び老人福祉センターの運営や、カラオケ教室等の自主事業を行うこととしている。</p> <p>【おおい老人福祉センターについて】</p> <p>利用対象者：60歳以上の方及び障害者手帳の交付を受けている方                  利用料：市内在住の60歳以上の方及び障害者手帳の交付を受けている方は無料。市内在住の60歳未満の方は300円、市外の方は500円(令和2年4月から600円)</p>																			
	<table border="0"> <tr> <td>利用者数</td> <td>平成28年度</td> <td>平成29年度</td> <td>平成30年度</td> <td>令和元年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(男性)36,757人</td> <td>(男性)33,966人</td> <td>(男性)35,009人</td> <td>(男性)31,512人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(女性)27,812人</td> <td>(女性)26,381人</td> <td>(女性)31,018人</td> <td>(女性)28,082人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(合計)64,569人</td> <td>(合計)60,347人</td> <td>(合計)66,027人</td> <td>(合計)59,594人</td> </tr> </table> <p>平成14年度から、受付・管理業務をシルバー人材センターに委託                  平成31年3月5日、延べ来館者数が100万人を突破した。</p>	利用者数	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		(男性)36,757人	(男性)33,966人	(男性)35,009人	(男性)31,512人		(女性)27,812人	(女性)26,381人	(女性)31,018人	(女性)28,082人		(合計)64,569人	(合計)60,347人	(合計)66,027人
利用者数	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度																
	(男性)36,757人	(男性)33,966人	(男性)35,009人	(男性)31,512人																
	(女性)27,812人	(女性)26,381人	(女性)31,018人	(女性)28,082人																
	(合計)64,569人	(合計)60,347人	(合計)66,027人	(合計)59,594人																

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業やイベントの継続を図り、新規利用者の獲得につなげていく。</li> <li>・介護予防や栄養改善に関する事業を市営管理者の事業として開催していく。</li> <li>・利用者が安心かつ安全に過ごせるよう、老朽化が進んでいる箇所については、優先順位を定め計画的に施設管理(保守点、清掃、修繕)を行っていく。</li> </ul>
中長期的方向性	
継続	